

しあわせ



西宮市社会福祉協議会

誰もが暮らしやすいまちづくりを目指して

「障害者週間」って知っていますか？

「国際障害者デー」(12月3日)から、「障害者の日」(12月9日)までの一週間は「障害者週間」です。障害者福祉について社会の中で関心と理解を深めるとともに、障害のある人の社会活動等への積極的な参加を高めることを目的に平成7年に制定されています。

西宮市に「障害を理由とする差別の解消に“みんなで”とりくむための条例」ができました！

西宮市では、今年7月に「障害を理由とする差別の解消及び誰もが暮らしやすいまちづくりの推進に関する条例」が施行されました。

この条例は、障害を理由とする差別の解消、手話をはじめとした情報コミュニケーション保障の推進、そして、障害の有無にかかわらず誰もが暮らしやすいまちづくりを市民・事業者・行政等みんなで進めていくことを目的としています。

12月3日～12月9日の障害者週間をきっかけに、私たちができることを考えてみませんか。



障害によって困ることは違う？ 私たちが知っておきたいこと

障害によって不便なことや必要な配慮は異なります。障害のある人が実際に困る場面とそこで必要な配慮の事例を紹介します。

事例 1

皆さんは聴覚過敏についてご存知ですか？周りからは分かりにくい「発達障害」のある人の中には、音に非常に敏感な人がいます。大勢の人の会話や赤ちゃんの泣き声など、日常的に聞こえてくる生活音にも過剰反応し、不快に感じる場合があります。音の不快を感じ過ぎると体調を崩してしまいます。そのため、耳栓やヘッドホンなどをして音を遮断する人もいます。

不快な音でしんどくならないために必要な配慮は、急に大きな声で話しかけないようにすることや、大きな音が鳴る前に声をかけて伝えるなど、一人ひとり違います。聴覚過敏のある人が周りにいる時は、しんどさの原因は何かを一緒に考え、どう対応すればいいか理解していきたいですね。



事例 2

コロナ禍において、マスク着用が当たり前の社会になりつつあります。しかし、障害のある人でマスクを着けることが困難な方もいます。中には一時的にマスクをつけることができて、感覚過敏という症状により長時間の着用が難しい人もいます。

街中でマスクをつけていない人を見た時、「何か事情があるのかな？」とまずみんなが思えるようになれば、ちょっとした配慮につながるのではないのでしょうか。

また、マスクをつけることで、聞こえに障害のある人が唇の動きを読み取ることが出来なくなったり、マスクにより声が聞き取りにくく会話しづらくなっている難聴者や高齢者がいることを知っておくことも大切です。



障害のある人の相談窓口

合理的配慮などについてもお問い合わせください

日々の生活に関する困りごと

障害者総合相談支援センター にしのみや
障害のある人や家族からの相談をお受けします。

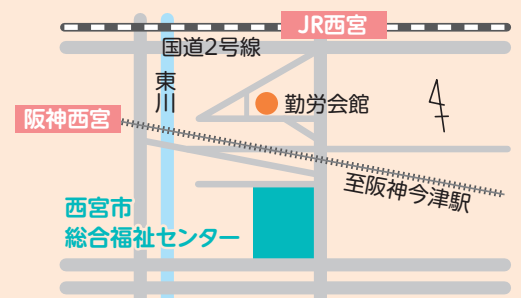
TEL.0798-37-1300 FAX.0798-34-5858



仕事に関する相談窓口

障害者就労生活支援センター アイビー
障害のある人が安心して働くことができるように支援を行います。

TEL.0798-22-2725 FAX.0798-22-2724



障害者総合相談支援センターにしのみや、障害者就労生活支援センターアイビーは、西宮市総合福祉センター(西宮市染殿町8-17)2階にあります。



じぶんの町を良くするしくみ

共同募金の取り組み



募金百貨店プロジェクト

10月～3月末まで「夙川さくら作業所」で“寄付つき商品”の販売をしています。皆様の応援をお願いいたします。



西宮 募金百貨店

検索



一口で
笑顔こぼれるおいしさ
さくらスイーツ
プロジェクト

さくらサプレセット 300円(内、30円が募金)

こんなところに活用されています！

地域住民がつながる「ふれあいいきいきサロン」



- 身近な人と知り合える
 - 住民同士で見守り合う場
- *市内35地区・50か所で開催

地域で子どもを見守る「ともだち食堂」

子どもの育ちを地域で見守り、多世代の交流で共助できるまちづくりを目指して、平成30年度から始められました。



赤ちゃんから高齢者までが参加されています。

*令和元年度共同募金配分金による公募型助成を活用

歳末たすけあい運動

誰もが地域社会の一員として参加できるさまざまな福祉活動を展開し、地域で孤立することなく自分らしく、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進めています。ご協力よろしくお願いたします。

運動期間

12/1 ▶ 31



お問い合わせ

西宮市共同募金委員会(西宮市社会福祉協議会内) TEL.0798-23-1140 FAX.0798-23-3910

学生と一緒にコロナを乗り越えよう 学生応援プロジェクト Part2



食支援の取り組みを実施しました！

新型コロナウイルスの影響で困っている大学生を応援するプロジェクトが進んでいます。

まず、関西学院大学学生寮で学生の声を聞いたことをきっかけに、学生自身が企画メンバーとなった主体的な活動を始めました。

活動の第一弾は、応援プロジェクトメンバー「コープこうべ」の協力を得て、同大学生への“食の支援”です。

学生の企画メンバーと協議を重ね、ただ食材を提供するだけでなく、学生の食生活が少しでも豊かになるよう、地域のつどい場実践者が考えた「学生でも簡単に作れるレシピ」をつけて食材を渡しました。

同時に、食材提供した学生へのアンケートを実施、今後は集まった声を参考に、もっと取り組みを広げられるよう、学生企画メンバーとも一緒に考えていく予定です。



お問い合わせ

共生のまちづくり課 地域支援係 TEL:0798-61-1361 FAX:0798-61-1409

イベント・セミナー情報

「聞こえにくい」ってどんなこと？

～聞こえる人と聞こえにくい人のコミュニケーション講座～

「聞こえにくい」ということについて、聞こえにくい人も聞こえない人も一緒に交流しながら学び、コミュニケーションの第一歩をふみ出す講座です。

【日時】①令和3年2月6日 ②2月13日 ③2月20日 ④2月27日(毎週土曜日) 13:30～15:30
①②は「聞こえにくい」についての基本的なお話や交流会
③④は筆談などによるコミュニケーションを体験します。

*4回シリーズの講座ですが、①②のみ参加もOKです。受付時に希望の参加日をお伝えください。

【場所】総合福祉センター本館2階研修室 【参加費】無料 【定員】20名(先着順)

【対象】18歳以上の市内在住・在勤・在学者 ※会場には、講師が話した内容をその場で文字にして伝える「要約筆記」がつかえます。聞こえにくい不安がある方も、ぜひご参加ください！

【申込締切】令和3年1月15日(金)

【お申し込み・お問い合わせ】

共生のまちづくり課 福祉啓発係までTEL、FAX、メールにてお申し込みください。

TEL.0798-31-3006 FAX.0798-37-0025 メール: ai-support@n-shakyo.jp

*メール・FAXの場合は名前(ふりがな)・住所・電話番号を記載

認知症サポーター養成講座

どなたでも、気軽に受講できる「認知症」についての正しい知識を身につけるための講座です。受講された方には、オレンジリングをお渡しします。

【日時】①12月15日(火) 10:00～11:30 ②令和3年1月19日(火) 10:00～11:30
③2月20日(土) 10:00～11:30 ④3月11日(木) 13:30～15:00

【場所】①と③はオンライン講座 ②西宮市市民交流センター ④山口公民館

【対象】市内在住、在勤、在学者 【参加費】無料

【定員】①と③については各15名 ②と④については各20名 (①～④全て先着順)

【お申し込み・お問い合わせ】共生のまちづくり課 福祉啓発係まで

①、③のオンライン講座についてはメールでのみ受付

②、④の講座についてはTEL、FAX、メールにてお申し込みください。

TEL.0798-31-3006 FAX.0798-37-0025 メール: ai-support@n-shakyo.jp

*メール・FAXの場合は名前(ふりがな)・住所・電話番号を記載

広告

UR テナント募集中心!



5,643戸の大型団地

武庫川団地

■所在地/兵庫県西宮市高須町2丁目1番 ■床面積/226.30㎡

■賃貸料/444,400円/月(税込・月額)

■共益費/22,600円(月額) ■敷金/2,666,400円

■募集業種/医療施設、高齢者支援施設、子育て支援施設、事務所等

子育て支援事業者への賃貸料優遇制度
賃貸料最大50%OFF

高齢者支援事業者への賃貸料優遇制度
賃貸料最大20%OFF

礼金・更新料不要 工事前の賃貸料無料! 保証人不要!

*申込後の審査により、賃貸料が割引になる事業かどうか判断させていただきます。既存店舗との競合業種は、団地によっては受付できない場合があります。

UR都市機構 独立行政法人 都市再生機構 西日本支社 住宅経営部 経営課

〒536-8550 大阪府城東区森之宮1-6-85
TEL.06-6969-9044
URテナント 関西 検索

育成センターについて

今日も「ただいま!!」と帰ってくる子ども達の元気な声が聞こえます。浮かぬ顔の子がいると、指導員が「どうしたの?」と気かけます。社協では、就労等で保護者が家庭にいない子ども達が安全に過ごせる場として、育成センターを運営しています。季節行事などを取り入れながら異年齢の仲間と過ごしていますが、今年はコロナ禍で多くの制限があるため、密を避けて楽しく遊べるように工夫しています。

当会は市内24小学校内にある施設を運営しています。

(西宮浜、安井、今津、春風、広田、神原、甲陽園、北夙川、鳴尾北、小松、高須、南甲子園、段上西、段上、樋ノ口、瓦林、甲東、上ケ原、上ケ原南、生瀬、名塩、東山台、山口、北六甲台)



皆で座ってキャッチボール!

【対象】小学校1年生～3年生の児童(障害のある児童は6年生まで) ※一部4年生利用あり

【時間】放課後～17:00まで

土曜日、夏休み等の長期休業期間中は8:00～17:00
延長利用は19:00まで(土曜日は除く)



ルービックキューブに挑戦!

問合せ先 育成センター事業課 TEL.0798-36-7127 FAX.0798-36-7887

この広報紙は、市民のみならず皆様からご協力いただきました「赤い羽根共同募金」の配分金及び「社協会員会費」で作成しています。

西宮市社会福祉協議会

〒662-0913 西宮市染殿町8-17(西宮市総合福祉センター内)
TEL.0798-34-3363(代) / FAX.0798-35-1132 URL: https://nishi-shakyo.jp

2020年11月25日発行
年4回発行(次号3月発行予定)